

天塩川歴史資料館 シンボルマーク募集中！



協力隊の鷹尾です。ただいま天塩川歴史資料館では、当館のロゴマークに使用するシンボルマークを募集中です！ 町内の回覧等でもお知らせしておりましたが、改めてこちらでも今回のキャンペーンについてご紹介します。

毎年5月18日は「国際博物館の日」です。当館でも国際博物館の日の記念事業として、シンボルマークの公募を行うことになりました。応募用紙の提出は2026年6月10日（水）まで受け付けており、当館の開館記念日である6月17日（水）に採用デザインを発表予定です。ご応募いただいた皆様にノベルティをプレゼントするほか、シンボルマークのデザインが採用された方には、採用デザインのシンボルマークを使用した記念品を贈呈いたします。

シンボルマークの応募用紙は町内回覧でみなさまのお手元に届いておりますでしょうか。応募用紙は天塩町役場や天塩川歴史資料館、道の駅てしおにも設置しております。資料館の公式ウェブサイトやチラシなど、様々な場所で使用される予定のシンボルマークの考案者になってみませんか？ たくさんのご応募をお待ちしております。

また、国際博物館の日の記念事業の一環で、展示資料の解説音声ガイド（日本語・英語）をタブレット端末で聴けるようになりました。より分かりやすく展示をお楽しみいただけるように工夫を続けておりますので、ぜひお越しください。みなさまのご来館をお待ちしております。

グラウンド開きに参加しました！

協力隊の前川です。5月10日（日）、運動公園野球場で開催された本年度のグラウンド開きに参加しました。対戦相手は羽幌フェニックスミドルの皆様で、試合は延長戦まで行われ、結果は2対5で敗れましたものの、久しぶりに野球を楽しむことができ、有意義な時間となりました。

私は5回表から出場しました。昨年度はグラウンド開きの練習中に肉離れを起こしてしまったため、今年は無理のない範囲でプレーし、怪我なく終えることができました。

本年度も豪球会の一員として、チームの力になれるよう精一杯努めてまいります。

また羽幌フェニックスミドルの皆様には、対戦いただきありがとうございます。これからも、ますますのご活躍を心より応援しております。

COMMUNITY-REACTIVATING COOPERATOR SQUAD

協力隊通信

EXPRESS DELIVERY

着任のごあいさつ

5月1日より天塩町地域おこし協力隊として着任、移住してきました上村強志（かみむらつよし）です。

出身は新潟県の南魚沼市です（コシヒカリが有名な地域）。天塩町に来る前は新潟県の粟島（あわしま）という人口300人の離島で、地域おこし協力隊として主に水産業支援として定置網の船に乗って、海上作業、陸上作業に従事していました。その中で粟島の鮮魚の市場を通さず直接消費者に販売するECサイト販売、ふるさと納税返礼品の鮮魚部門の立ち上げなども携わってきました。天塩町ではフリーミッション型の地域おこし協力隊として採用いただきましたが、水産業の活動支援を土台に様々なことに挑戦していきたいと考えていますので、気軽に声をかけていただければと思います。

船に乗れと言われたら喜んで乗りますし、牛の世話を手伝えと言われたら喜んで挑戦します。また多少、作業免許も所持していますのでフォークリフトに乗れ、クレーン使え、コンボ、バックホーに乗れ、草刈手伝えなども喜んで作業します。

生活が落ち着いたらその辺の堤防やサーフで釣りを再開したいと思います。どんな魚が歓迎してくれるか楽しみです。

人口規模が300人から2500人の町に来たのでカルチャーショックが大きいですが、1日でも早く天塩町に溶け込み、いろいろな方の話を聞いて今後の活動に生かせるように努力していきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。



てしお温泉「夕映」の Instagramができました



フォローして
最新情報をチェック！

